

自然環境調査報告書第 14 集にあたって

堀井 達夫

(トトロのふるさと基金 調査部会)

キーワード：墓地開発；管理方針；トラスト地

当基金が先頭に立って反対運動をしている三ヶ島二丁目の墓地開発は、多くの反対の声に押されて墓地化は中止に向かって動いているようである。切り開かれた予定地は所沢市が買い取って公有地化する方向で進められ、当基金はその取得に協力することを申し出ているし、所沢市としても大いに期待している。今後、公有地化後の植生調査や復元作業の内容について考えておくことが大切であると思われる。

トトロのトラスト地の取得は現在第 48 号地まで増えている。本号では第 34 号地から 36 号地、38 号地から 40 号地、42 号地から 44 号地、46 号地までの調査結果と管理方針の提言を川越が行っている。三ヶ島湿地におけるトウキョウサンショウウオの卵囊数調査は 2009 年から継続しているが 2017 年と 2018 年の調査結果を関口が紹介している。北野の谷戸の米の栽培に影響が懸念される湧水の有害物質調査の結果を北浦が報告している。川越が報告するトトロの森 13 号地のカタクリが年々増えているのは喜ばしいことである。狭山丘陵とその周辺緑地の現況及び展望に関する考察を横山と荻野が報告している。三ヶ島二丁目里山保全地域内の葛籠入り湿地保全における環境調査報告を見嶋が報告している。また、見嶋からは埼玉県から委託の平成 29 年侵略的外来生物県民参加モニタリング調査が報告されている。

報文としては、佐藤千とせ氏から狭山丘陵いきものふれあいの里センターにおけるカタクリの株数・花株数の継続調査が報告され、矢崎英盛氏からは、「トトロの森の夜の観察会」のライトトラップで観察された昆虫類について投稿いただいた。2 件とも貴重な報告で投稿者に御礼申し上げる。

謝辞

北野の谷戸の有害物質調査において、早稲田大学自然環境調査室の竹内氏のご支援・ご協力をいただいた。この場を借りて深く感謝申し上げます。